

広報さくら

◆◆ 第97号 ◆◆

平成26年3月1日

発行: 日本大学明誠高等学校後援会



左上：土のグラウンド 真ん中：工事中のグラウンド 右下：人工芝のグラウンド
右上：雪の正門 左下：50周年記念碑（山口県萩市）

主な内容

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ○一年を振り返って…………… 学校長 …… 2 | ○誠祭バザー・お茶処報告…………… 9 |
| ○一年を振り返って…………… 会 長 …… 3 | ○体育祭…………… 10～14 |
| ○夏季研修会報告…………… 4 | ○強歩大会支援活動報告…………… 15 |
| ○誠祭…………… 5～8 | ○後援会活動報告…………… 16 |

「光陰矢の如し」とは使い古された言葉ではありますが、一年の過ぎることの速さが年々増していくように感じる今日この頃であります。まもなくすると、上野原の段丘にも春が訪れて桜が満開になり、新しい制服に身を包んだ新入生が入ってきます。厳しい冬であればなおさら、春の到来が本当にうれしく感じるものです。その季節がすぐそこまで来ております。

日頃は、後援会の皆様におかれましては、本校の教育推進に際しまして、ご協力とご理解を賜り感謝申し上げます。一年を振り返ってということで、原稿の依頼をいただきました。そこで、嬉しかったことを書かせていただきます。

先日、私のところへ差出人のない手紙が送られてきました。中をあけてみたところ、手紙と一緒に2万円の図書カードが入っていました。手紙を読むと、『30年前の卒業生です。自宅の押入れを整理していたところ、在学当時に図書室で借りた本が数冊ほこりをかぶり、変形した姿で出て来

ました。その本を見て自分の無責任さに情けなくなっていました。社会人として働いている現在、会社で物がなくなることは事件です。当時の図書担当の先生方に申し訳なく、慙愧の念に耐えません。ここに図書カードを同封いたします。』というものでした。

このことは、全校集会でも話をしました。年を重ねられても、本校のことを思っていたくことは、教育に携わっている者にとって、また本校にとりましても心温まる嬉しいことであります。

結びになりますが、生徒には全校集会など事あるたびに日本大学明誠高等学校の自覚を持ち、立派な社会人としてまた人に役立つ人間になってもらいたいと話しております。教育は学校だけでなく、地域の皆様のご理解とそして後援会の皆様のご家庭における指導があつてのことと思っております。ここに衷心より感謝を申し上げてご挨拶いたします。



長男と長女が日大明誠高等学校にお世話になり、私も後援会役員として、五年目を迎えた春に、後援会会長という役職をいただき、プレッシャーを感じながらも、もうひと頑張りというところまで来ました。

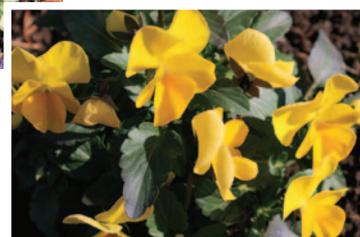
春に、紹介した後援会行事の一つである誠祭のバザーの開催も、後援会、同窓会、先生方OBの皆様から1500点を超える品物が集まり、賑やかなバザーになりました。そして、売上げにつきましては、強歩大会で生徒さん達のおにぎり代等に使用させていただく予定でした。しかし、残念ながら、今年度は強歩大会が大雪のため中止となりましたので、別の形で役立たせていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。

強歩大会を目前に控え、準備も進んでおりました。応援はもちろん、豚汁とおにぎりを振舞い、生徒さん達と楽しくふれ合えたらいいな…と思っておりましたが、まれにみる大雪のため強歩大会、豚汁作りともに中止となり、ふれあいの機会がなくなってしまったこと、残念に思います。

また、最後の行事の謝恩会につきましては、これから3年生の保護者の多数の参加を呼び掛けたいと思っています。

最後になりますが、皆様の温かいご指導、ご協力により、後援会活動が円滑に行えたことを深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。



本年度の後援会研修部が企画する委員・役員研修会は平成25年6月29日(土)に日本大学理工学部船橋キャンパスを見学することになりました。

この研修会は、本校のアピールと大学の見学を目的にしたものです。明誠高校からは毎年大勢の生徒が目標にし、進学をしている学部でもあります。

明誠高校からは橋都校長先生をはじめ教職員の皆様、理工学部からは岡田事務局次長(元明誠高校事務長)、後援会委員・役員の総勢60名の参加がありました。(ご夫婦での参加も多数ありました。)

当日は、貸切りバス2台にて日大明誠高校発と八王子駅発が中央道石川パーキングにて合流し、理工学部船橋キャンパスに向かいました。若干の渋滞で到着が遅れたにもかかわらず大学側の迅速な対応や、ご厚意による昼食を頂いたりと大きな歓迎を受けました。

説明会では、大学、短期大学側から学部の教育目標や各科の特徴を丁寧に分かりやすく説明していただきました。見学会では広大な敷地内に滑走

路があることにまず驚きました。また、多彩な研究施設や貴重な設備の説明がありました。参加された方々も熱心に質問されるなど保護者自身も学びたい気持ちになる理工学部の素晴らしい教育環境を体験することができました。

最後に酒々井プレミアムアウトレットでは、少ない時間ではありましたが参加者の交流と自由散策を楽しめたかと思えます。

全行程が終わり八王子駅にて解散後、意見交換会及び反省会を行いました。会場では、理工学部の対応や環境の素晴らしさが話題となっていました。

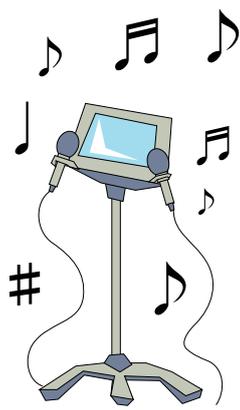
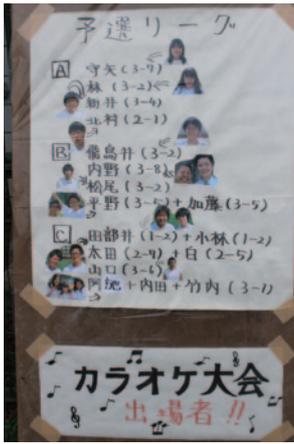
校務で忙しい中の研修会にもかかわらず参加いただきました校長先生や先生方、委員・役員の皆様のご協力により、本年度研修会も無事、有意義に終わることができたこと心から感謝申し上げます。関係者の皆様には、これからも後援会活動にご理解、ご協力をいただけることをお願いし、研修会の報告とさせていただきます。











今年の誠祭は、先日完成したグラウンドの人工芝化にちなんで「Re:make～人工芝はじめました～」をテーマに9月14日(土)・15日(日)に開催されました。

後援会バザーは、夏の猛暑は幾分やわらいだものの、接近する台風18号の影響が懸念される中、準備に取り掛かりました。今年はメイン会場が人工芝になった関係で、グラウンド内にテントの設置が出来なくなり、設置場所の検討など、生徒たちも準備に大変そうでした。しかし、14日の誠祭当日は青空の下、人工芝の緑も映え、例年とは違った、まさにリ・メイクされた誠祭がスタートしました。

生徒たちが日頃お世話になっている地域の皆様とのコミュニケーションを目的とした私たちの後援会バザーも、大勢の方にご来場いただきました。翌15日は雨の予報でしたので、大盤振舞いさせて頂きましたので大盛況でした。

2日目は予報通り台風の影響で雨が降りしきる中でのスタートとなり、バザー会場は学校のご

厚意により管理棟内に移させて頂き、なんとか始めることが出来ました。しかし、生徒の安全を第一に考え、学校より午前11時に中止が決定されました。台風による強風も予測されましたので、我々も生徒たちも雨の降りしきる中、テントなどの撤収作業に追われましたが、けが人も無く、無事終了いたしました。

この様に、あわただしい2日間で、バザーの売り上げも例年に比べるとかなり落ちましたが、地域の皆様方とのコミュニケーションも図ることができ、何よりも、誠祭に係わった皆様方との絆が深まったのが最大の成果だったと思います。皆様ありがとうございました。

また、商品の提供や準備から販売までご協力いただいた関係各位はじめ、野球部・サッカー部の保護者会、後援会OBの皆様方、教職員の皆様方からもたくさんの商品をご提供頂きました。重ねてお礼申し上げます。

皆様のご協力、本当にありがとうございました。





開会式



準備体操



80m徒競走



二人三脚リレー



玉入れ



棒倒し





障害物競走



応援合戦



台風の目



クラス対抗全員リレー



部対抗リレー



大縄跳び





ムカデ競争



騎馬戦



棒引き



閉会式





ちょこっとクイズ

明誠の先生の高校時代の写真です。

第1問

この先生は誰でしょう？

ヒント

高校生にして、この風格。このころから立派ですね。



第2問

この先生は誰でしょう？

ヒント

文化祭のキラのあるダンスのリズム感はこちらから来たのですね。



クイズの答えは最後のページです。

本年度の強歩大会の日程が、2月22日(土)開催に決まり、天候の事、路面の状況等、何かと心配していましたが、大会当日に向け準備を進めて来ました。

今年も後援会後方支援としまして『豚汁』作りと、コースの誘導を行うことに決めました。三ヶ月程前から実行委員会を立ち上げ、委員相互の親睦を深め、2,3年生委員の皆様にアドバイス頂きながら話し合いを重ね、本番に向け準備を進めて参りました。

いよいよ、本番を迎える一週間、まさかの何十年ぶりかの大雪に見舞われ大会を中止する事になりました。一週間後の路面状況を考えた時、生徒達を安全に誘導する事が難しいと判断された学校

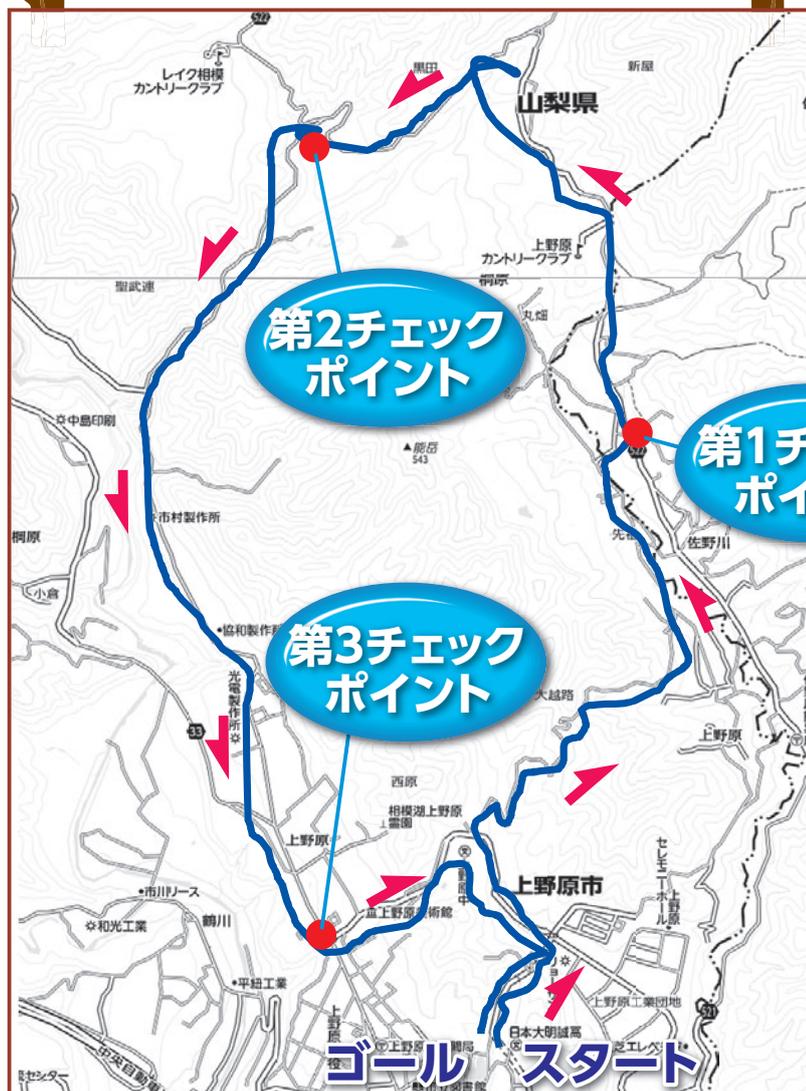
側も生徒達の事、後援会の事を考えると苦渋の決断だった事と思います。

中止にはなりましたが私たち1年生委員は、一致団結する事ができ、大会を実施する事が全てではなく、今日この日を迎えるまでのプロセスが、大事なのだと感じております。

最後に大会の支援に協力して頂いた、役員、委員、保護者の方々又、運営に尽力して下さった先生方に厚く御礼申し上げます。中止になってしまいましたが、ある意味で皆様のご記憶に残る大会であった事と思っております。

これからも子供の成長を肌で感じる事ができ又学園生活を垣間見る事のできる後援会活動にご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

強歩大会予定コース



全長14km
第2チェックポイント近くまで、急な上り坂が続く。
その後は、富士山も眺められる見晴らしのいい高台を走り、林の中へ。
走りごたえ(歩きごたえ?)のあるタフなコースです。



平成25年度 後援会活動報告

平成25年

- 5月 後援会定期総会
第1回役員会
- 6月 第2回役員会
第1回委員総会・学年別委員会
後援会研修会(理工学部訪問)
- 7月 「広報さくら」発行 第96号
- 9月 第3回役員会
祭典パトロール
誠祭バザー・お茶処 準備
誠祭バザー・お茶処 実施
- 10月 体育祭
- 12月 第4回役員会
第2回委員総会・学年別委員会

平成26年

- 1月 賀詞交歓会
- (2月 強歩大会豚汁 準備・実施⇒中止)
- 3月 卒業式・卒業謝恩会
「広報さくら」発行 第97号
- 4月 入学式
第5回役員会

～編集後記～

今年度は、明誠高校の第一グラウンドが人工芝に変わり、行事日程も大きく変わり、「広報さくら」の内容も変わった1年でした。そのような変化の中、皆様のご協力をいただき予定通り「広報さくら」を発行することができました。広報部員一同、心より感謝申し上げます。中でも、お忙しい中原稿をお寄せくださった先生方、後援会役員の皆様、無茶ぶりにも関わらず、若いころの写真を提供くださった先生方、心よりお礼を申し上げます。

日頃学校に足を運ぶ機会の少ない保護者の皆様に、少しでも学校の、生徒たちの様子を伝えられればと広報部員一同努めてまいりました。一つでも目に留まった情報があれば幸いです。

これからも皆様に楽しんでいただける広報誌づくりに励みたいと思います。皆様からのご意見、ご感想、ご要望などありましたらお知らせください。今後の参考にさせていただきます。

1年間、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。(広報部員一同)

ちょこっとクイズの正解

第1問：橋部 哲磁 校長先生 第2問：辺見 和也 先生